



宮川 卓さん
Miyagawa Takashi

〔有安区〕

みやがわ たかし / 甲佐町民生委員・児童委員協議会会長。民生委員・児童委員として地域と向き合って7年目。地域福祉活動の推進に取り組む。

地域のつながりを大切に 住民が頼れる存在を目指して

「地域住民同士のつながりが希薄になりつつあるなかで、日々のあいさつやちよっとした声掛けといった小さなことをコツコツ続けることを大切にしています」と話すのは、甲佐町民生委員・児童委員協

議会会長の宮川卓さん（有安区）。同協議会は、地域住民の一人として、住民生活上のさまざまな相談に応じて行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割

を果たすとともに高齢者や障がい者世帯の見守りなどを担う民生委員・児童委員の人格見識の向上と、委員相互の連絡調整を図ることを目的に、町社会福祉協議会や行政機関などと連携しながら地域に密着した活動を行っている。宮川さんが民生委員・児童委員として活動を始めたのは、前任者に声をかけられたのがきっかけ。熊本市から移り住

んで半年程のころ、顔馴染みもまだ多くない中で、甲佐の住民として早く馴染むためにという前向きな思いから引き受けたという。

「最初は住民の皆さんとの距離を縮めるのに苦労しました。顔を覚えてもらうまで、あいさつなどを地道に続けていましたね。地域の皆さんに気軽に相談してもらえるには、私たち委員が皆さんから信頼され、頼れる存在でなければいけないと思っています」

昨年からは甲佐小学校からの依頼で、朝からの登校班に付き添っているという宮川さんは「児童の見守りの一環で小学校までの2km程の道のりを子どもたちと一緒にゆっくり歩いています。委員になったころ伺っていた子育て世帯のお子さんが今年から小学校に入学され、その成長の早さに驚くばかりです。私自身も甲佐の一員として、地域とのつながりを大切にしつつ、自分でできることを続けていきたいですね」と柔らかな笑顔で地域への温かいまなざしを向ける。

広報 こうさ

2020年（令和2年）5月号
通巻610号